

雨量が多い 時期の防災

7月から9月までの期間は、集中豪雨や台風などで洪水や土砂災害が発生しやすい時期です。いざというとき、災害から自分自身や家族を守るために大切な情報をお知らせします。
【問】危機管理防災課 ☎603-8031

近年、市内でもゲリラ豪雨が頻発し、洪水や土砂災害が発生しています。普段生活している地域でも大雨などにより、浸水や停電など、さまざまな被害を受けるかもしれません。

浸食し、通行不能となった石花橋
(松内字石花)

約200年にわたって発生した土砂崩れ(上田字糠森)



松川の氾濫で浸水(好摩字小袋)



平成25年9月16日

大型の台風第18号の影響により断続的に雨が降り続き、玉山地域の好摩では、最大1時間42.0mmを観測。9月の観測史上最大となるなど、各地に大きな被害をもたらした。



平成29年7月23日

大雨の影響により、市内の各地で土砂崩れや倒木、停電など、各地に大きな被害をもたらした。

正しい情報を得るために

いざという時に慌てないために、災害の状況や避難所の開設状況など正しい情報を得る

必要があります。分かりやすくなった防災情報や災害時に情報を得る方法をお知らせします。

NEW!

防災情報がより「分かりやすく」

災害時に分かりやすい防災情報を提供するため、警戒レベルが新たに設定されました。気象情報や避難行動に関する情報が、テレビなどで全国共通の5段階の警戒レベルにより提供されます。

警戒レベル	とるべき行動		防災気象情報	避難情報の発令基準
レベル1	防災気象情報などの最新情報に注意し、 災害への心構えを高める。		数日中に警報級の大雨が降るとの予報	—
レベル2	避難場所や避難経路、情報の入手手段、避難のタイミングの再確認など、 自らの避難行動を確認 する。		大雨・洪水注意報	—
レベル3	避難に時間を要する人(高齢者、障がいのある人、乳幼児のいる人など)は指定緊急避難場所などへ 避難 する。その他の人は避難の準備をし、自発的に避難する。		避難準備・高齢者等避難開始	・河川の水位が避難判断水位を超えた場合 ・軽微な漏水、浸食などが発見された場合
レベル4	対象地域にいる全員 が指定緊急避難場所などへ 避難 する。ただし、災害が発生する恐れが極めて高く、避難をすることでかえって身の危険が及ぶような状況では、建物内のより安全な場所に避難する。		避難勧告 避難指示(緊急)	・河川の水位が氾濫危険水位を超えた場合 ・異常な漏水、浸食などが発見された場合 ・河川の水位が堤防の高さに到達する恐れが高い場合(越水※1・溢水※2の恐れがある場合)
レベル5	既に災害が発生している状況であり、 命を守るための最善の行動 をする。		災害発生情報	決壊や越水・溢水が発生した場合

※1…堤防がある場所で川などの水があふれること ※2…堤防がない場所で川などの水があふれること

大雨や洪水発生時の避難行動

災害が起きたときに身を守るためには、住んでいる場所や家族構成などを考慮し、災害の種類に応じた避難などの行動が必要です。大雨や洪水の際の避難のポイントなどをお知らせします。

身の危険を感じ、指定緊急避難場所が浸水しない安全な場所へ避難する場合

Point いざという時のために、日頃から避難の仕方について家族と話し合っておきましょう

- 声掛け避難
できるだけ単独での行動は避け、近所の人たちと声を掛け合って避難しましょう
- 安全なルートで避難
河川や水路沿い、地下道などは避け、できるだけ安全な広い道を選びましょう
- 連絡メモを残す
合流しやすくするため、外出中の家族には「〇時に〇〇へ避難する」などのメモを残しましょう
- 車で避難は控える
車は約30分間の浸水で走行できなくなる可能性があります。できるだけ徒歩で避難しましょう

指定緊急避難場所への避難が遅れ、自宅などで上の階へ避難する場合

Point 浸水が解消するまで時間がかかることもあり、次のような状況が続くことが考えられます

- 水・食料の不足
備蓄していても水や食料が足りなくなる場合があります。普段から最低3日分は備蓄しましょう
- 建物内移動の困難
マンションなどの高層建物の場合は、エレベーターが止まり、階段での移動を余儀なくされます
- ライフラインの断絶
電気、ガス、水道が止まるとともに、外部の情報を得ることが難しくなります
- 医療が受けられない
病人が出た時や体調を崩した場合は対応が難しくなります

事前に登録！

スマホアプリ 「Yahoo!防災速報」

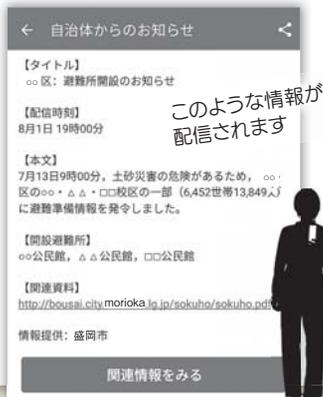


市は、市内の災害情報をいち早く提供するため、ヤフー株式会社と協定を締結しています。同社の「Yahoo!防災速報」を活用し、災害発生時や台風接近時などに、避難情報や避難所の開設状況、注意喚起の情報を配信します。

受信には、アプリのダウンロードと地点の事前登録が必要です。3カ所まで地点登録できます。



▲iOS版 ▲Android版



このような情報が配信されます

大雨の際はすぐ確認！

洪水情報を 緊急メールで発信！

国が管理する北上川で、大規模な洪水が発生する恐れがある場合に、携帯電話などへ緊急速報メール（登録不要）が自動で発信されます。また、国土交通省のホームページ「川の防災情報」では、雨の降り方や川の水位情報や河川沿いに設置されたカメラのライブ画像、洪水の浸水想定区域など、災害に関するさまざまな情報を確認することができます。

自分がいる場所の水害の危険性を知り、自主的な避難行動に役立ててください。大雨が降ったら、まずチェックを！



▲川の防災情報



テレビを確認！

地上デジタル放送(データ放送)による防災情報

テレビのリモコンの「^デd」ボタンを押すと、NHK総合テレビでは、「防災・生活情報」の項目が表示されます。その項目から「避難情報」や「河川水位・雨量」を選択すると、国や県が管理する河川の水位が確認できます。



ラジオと 防災行政無線

▶ラジオもりおかの自動割り込み放送(盛岡地域・都南地域)

緊急時には、通常の放送に割り込みをし、災害情報を提供します。

▶防災行政無線(玉山地域)

屋外に設置しているスピーカーで災害情報を伝えます。

防災マップは昨年各家庭に配布済みです。同マップは市公式ホームページでも公開中。積極的に活用し、我が家の防災計画を立てましょう

